

老健にいがた

第25号

2009. 1 Vol. 25



目次

巻頭言	1	施設紹介	13~14
特集 認知症の理解を深める	2~5	協会だより	15~16
研修会報告	6~9	老健とわたし	17~18
平成20年度 新潟県介護老人保健施設大会	10~12	みんなの広場	19

巻頭言

身近に思うこと

新潟県介護老人保健施設協会

監事 佐野 孝



老人保健施設が導入されたのが昭和61（1986）年であり、私のところの常盤園は本県で8番目の開設でありました。それが現在県内で90施設の多きに達しておりますが、対象者の増加により只今まだ入所待ちという方々の多い現状を見るにつけ、深刻さを目の当たりに見る思いであります。

家庭で老夫婦だけで暮らしておられ、一方が認知症或いは歩行障害等身体機能が衰えますと、一方が自宅で介護することは非常に難しく、家庭介護は深刻な状況になります。

私の常盤園は、精神科病院を標榜している白根緑ヶ丘病院と併設になっておりますので、周囲や近隣の単独の老健施設から精神的に落ち着かない方々の入所を依頼されるケースが多くなりつつあります。これも後期高齢と言われる老人が増え続ける中での最近の特色ある変化と見てよいと思います。お引き受けして、精神安定剤或いは精神的ケアをして、また元の施設へ戻って頂く例がよくありますが、確かに局面が変わっていることを実感しております。

また、ご家族の方々で入所者の最後の看取りを他の病院を希望される方もありますが、是非このままこの常盤園で最後まで診てほしいと希望されるケースが多くなっておりますのを実感します。これも変わりつつある最近の風潮だと思います。この現状の中で、ある程度、点滴・注射等の有料化も検討されてよいと思います。

最近の報道で介護報酬の3.0パーセントの引き上げが決定され、来年度から実施すると言っています。これによって介護保険料が全国平均で40～44歳で月額3,595円（本人負担は半額）、65歳以上が同4,090円となるとのことでありますが、止むを得ないことと思われます。

世間では、政府や県のやることは何でも駄目だとの風潮が常にありますが、世界の現状を見ますとよくやっている国であるという、大人の視点を持つことも大切であると思います。

一方またマクロの面で見ますと、2020（平成32）年から老人が減っていくという指摘もありますので、常に長期的戦略や展望を怠らないことが極めて大切だと思います。

認知症の理解を深める

もの忘れの早期診断から進展予防まで

杏林大学 医学部高齢医学

教授 鳥羽研二



I) 早期診断の観点から

ドネペジルの長期効果の結果から、1年でも早く服用を開始すれば、施設介護になるまでの期間を延長し少しでも住み慣れた自宅にいられることが示された。認知症に対する栄養や運動など非薬物療法の効能が多方面で証明され、認知症は少なくとも多くの部分は生活習慣病である側面が示されてきた。このような状況から、いかに早く軽度の認知症を発見するかが課題となってきた。年齢相応の物忘れ（Age associated cognitive decline : AACD）と早晩認知症に進展する前段階の軽度認知機能障害（Mild Cognitive Impairment : MCI）を鑑別する手段として、髄液のリン酸化タウの測定や、SPECTによる後部帯状回のスポット状の血流低下などが鋭敏なMCIの診断に有効とされ、やや感度は落ちるがMRIによる海馬の萎縮を定量化して診断する試みも盛んである。アミロイド蛋白（A β 1-42）を画像で染めてしまうという画期的な試みが臨床に取り入れられる日も遠くない。しかし、どれもこれも、早期には、AACDとMCIは臨床的に区別できないため、「疑わしきは精査する」といった早期発見体制が求められている。

老人保健施設など介護保険施設の認知症は80%以上にも昇るといわれているが、正確な診断を受けている入所者は多くない。在宅でも介護保険利用者には、早期認知症やMCIが多く含まれると予想される。早期診断のためには、特異度が低くても感度の良いスクリーニング機能を有する簡易な検査方法を確立する必要がある。家族が最初に気づいた認知症のエピソード（本間昭、毎日ライフ2000）では、同じことを何度も尋ねる43%、ものの名前が出てこない36%、以前あった興味や関心の低下32%、物のしまい忘れ32%が他のエピソードより群を抜いて多い。

すなわち、短期及び長期記憶障害（話題が乏しく限られている、同じことを何度も尋ねる、ものの名前が出てこない）と生活障害（物のしまい忘れ、物をなくす）、と性格変化（以前あった興味や関心の低下、無関心）の3群に分けられ、これはDSM IVの診断規準にも合致することから、早期発見のスクリーニングツールとして有望である。これらの結果は、2006年4月からの改正介護保険により、介護予防の基本チェックリストに、

*周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか

*自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

*今日が何月何日かわからない時がありますか（時間見当識に軽度障害がMCI）

の3項目が取り上げられている。さらに、抑鬱や閉じこもりも設問があり、老人健診でのスクリーニングによって、早期発見が格段に進むことが期待される。

II) 治療を成功させるために

認知症の治療は医療では薬物療法が主体であるが、介護保険サービスは主として非薬物療法である。医師は、介護保険サービスで行われている、認知症のデイケアなど殆ど治療に役立っていないと軽視したり、バカにしているようなケースも少なくないときくが、最近のエビデンスからは、むしろこうした医師こそ無知であると考えてよい。デイケアなどには、見当識訓練、回想法、音楽療法、運動療法、活動療法などが、当事者はしらずともバランスよく含まれている（表1）。

これらを十分併用することが、中核症状の改善持続、周辺症状の緩和に役立つことが示唆される（表

2)。平成18年度の介護保険法の改正で、老人保健施設では、認知症短期集中リハビリテーション加算が新しく認められた。新入施設から、3ヶ月以内の対象に限定され、集団療法ではなく個人療法を、リハビリテーション職種(PT, OT, ST)が週3回、3ヶ月間にかぎり算定できる(表3)。老人保健施設における先行研究が理論的根拠となっているが、現在老人保健施設において多施設の効果判定のスタディーが進行中である。効果判定は、HDSR、抑鬱、意欲、周辺症状、コミュニケーションなど生活機能全般にわたり、単に記憶力の向上を主眼とするものではなく、非薬物療法の特徴である、穏やかで自立した生活の維持、在宅系への復帰を主眼としている。

表1 介護施設における集団認知機能訓練や認知機能維持に役立つ実践例

例	理論的根拠
集団歌唱	音楽、活動療法
各種ゲーム	運動、活動療法
記憶を助ける絵や名前を、部屋、家具、トイレに貼る	ROT*の応用
規則正しい生活、日課表を貼る、口頭で確認	ROT
見やすい時計、カレンダー	ROT
家族の写真	回想法
なじみのある個人の所有物をおく	回想法

*ROT: Reality Orientation Therapy、見当識訓練

表2 認知機能訓練のエビデンス

エビデンスレベルはOxford CenterのEBMガイドラインによるランク付けでA～Dは1～5に相当
有効性が確立
介護者の教育：在宅復帰、入所減少 A
行動異常に対する介護者の対処訓練が有効(BPSD、うつ) A
運動療法は認知機能低下を抑制 A
記憶訓練は問題行動、うつに有効 B
有効な可能性
現実見当識訓練は記録力、在宅復帰率向上 D
回想法は抑鬱に効果(ROTとの併用有効) D
無効な可能性大
Validation

表3 短期集中リハビリテーションの枠組み

認知症リハビリ 週3回、1回20分以上、個人療法 3ヶ月間 前後の評価項目 1) HDSR (<15は除外) 2) DBD周辺症状 3) GDS抑鬱の評価 4) Vitality Index意欲 5) MN scale

III) いつまでも在宅でいられるために

認知症と診断されることとは、本人はもちろん、家族にとって深刻である。生命予後も平均7年と短いだけでなく、この先どうなって行くかについての家族の不安は大きい。

在宅医療と在宅介護を両立させるためには、医師自身が、認知症患者の視点になり、認知症をケアする家族の視点に立つことが最低限要求される。米国アルツハイマー協会の、「評価」に関する項では、医学的診断に止まらず、生活機能評価、意欲・うつなどの精神面の評価、異常行動の適切な評価、介護者の役割分担、社会サービスの利用と介護負担など、「高齢者総合的機能評価」に盛り込まれているすべての項目がニーズとなっている。

特に、在宅持続や、施設からの在宅復帰の障害となるのは、家族の介護負担であり、介護負担の定量的な評価はかかせない。

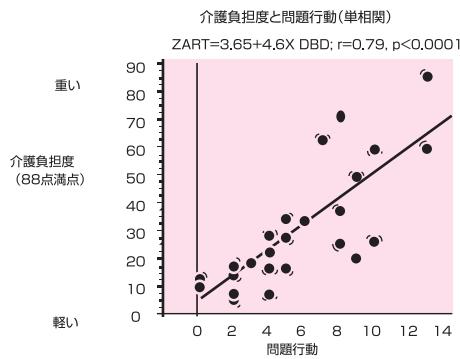
家族の介護負担とサービス利用

介護負担はZarit負担尺度(22項目)を用いて評価しているが(要点を表4)、これ以外に最も時間を割いて相談時間を割り当てている。症例が急増している現在、別の時間枠を設けるようなシステムの改変や、専門のスタッフ配置も課題となってきた。

表4 在宅で認知症患者を抱えている家族の悩み

家族の介護負担の評価 Zarit負担尺度の要点・経済的負担・自由時間の不足・責任感とストレス・問題行動への困惑・怒り・家族関係の崩壊・認知症が進むことへの恐れ・頼られ過ぎている・緊張・自己の健康阻害・プライバシーの喪失・仕事や付き合いが困難・客や友人を呼べない

図1



認知症患者の介護負担に関し、総合的機能評価から、包括的に検討すると、単相関では、ADLの低下、手段的ADL低下、認知機能低下（MMSE）、行動障害の増大など多くの項目に関連するが、重回帰分析では、自立の低下（手段的ADL低下）といわゆる問題行動の増加（行動障害の増大）に絞られた。なかでも、行動障害の増大は、介護負担度と非常に高い相関を示した（図1）。

介護負担を減らすためには、介護保険などのサービス利用を調べ、主たる介護者に過度の負担がかからないよう、他の家族に分担をお願いしたり、レスピトケア（ショートステイ）の積極的な利用を勧めている。また、抑鬱と陽性症状に応じた、薬物療法（抗うつ剤やリスピダールなど）の処方だけでなく、家族ができる症状緩和（音楽、運動など）を指導しているが、よりシステムックな指導形態を模索している。

生活自立を防ぐためには、「出来ることは自分でやらせる」ことが最も効果的で、実際独居者ほど、認知機能が低下しても、生活自立がぎりぎりまで保たれている場合も少なくない。

介護保険サービスを利用した場合介護負担が解消されるか調査した。毎日昼間介護しているケースでは、週3日（隔日介護）の二倍の介護サービスを利用することによって、介護負担は、隔日介護と連日介護はほぼ同等の介護負担であり、デイケアなどの効果は非常に効率的に働いている。一方、連日の夜間介護を強いられている家族では、介護サービスは連日昼間介護よりもさらに多くのサービスを受けているが、介護負担は解消されておらず、夜間の介護サービス、ショートステイの充実が望まれる。平成18年4月より、夜間の介護サービスの充実や、地域密着型小規模の介護施設の充実がスタートし、夜間介護負担が改善するかが注目される。

残念なことに、今のところ、夜間のサービス利用状況は芳しくない。ショートステイの拡充が今後の改革の鍵となるだろう。

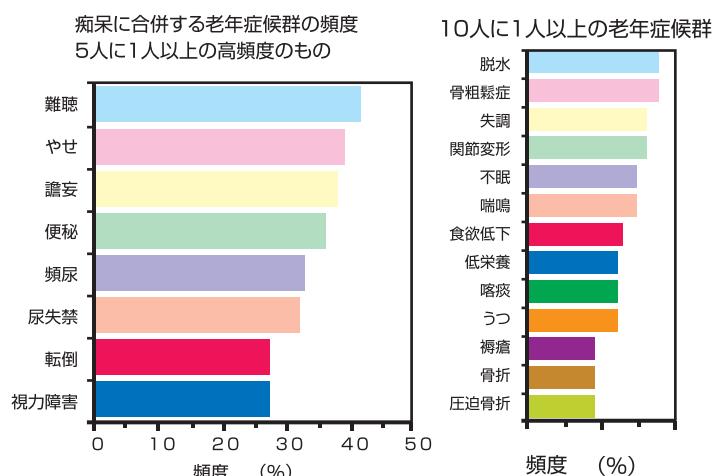
IV) 合併症を有する認知症のケアの場として

認知症にどのような老年症候群を合併しやすいか検討してみると（図2）高頻度の老年症候群は、主としてケアに直結する一連の症候群（譫妄、失禁、転倒）やコミュニケーション障害（難聴、視力障害）、栄養に関連する症候（やせ、便秘）などに分類される。

また中等度に見られる症候も、合併病態や関連病態である栄養関連（脱水、食欲低下、低栄養、褥瘡）、骨関節系（骨粗鬆症、骨折、関節変形）、精神神経系（失調、うつ、不眠）、呼吸器系（喀痰、喘鳴）などに大別される。頻度の極端に少ないものは吐き気（5%）、肥満（0%）である。

合併する老年症候群の頻度を図2に示す。

図2



このように、認知症は他の代表的な老年症候群である尿失禁、転倒骨折、誤嚥性肺炎、低栄養、廃用性症候群などを高頻度に合併し、さらに譫妄やうつなども問題となる複雑な医療分野といえる。

認知症には、高頻度に痩せが合併する。アルツハイマー認知症では、初期に鬱症状が出現し、食欲の変動がみられるが、進行するにつれ、食事に対する意欲が減退する例もみられる。老人保健施設、療養

型病床群における食事に関する意欲の調査を行ったところ、認知症老人では、食事を促さないと食べない割合が有意に多かった。

脳血管性認知症では、さらに嚥下困難症例が増加し、摂食意欲があっても、嚥下性肺炎により、絶食を余儀なくされることも多い。肺炎の繰り返しは、栄養障害をさらに増悪させる。

認知症患者の栄養障害は、摂食意欲をいかに増大させ、摂食意欲低下に隠れた病態（誤嚥、食事に時間がかかる、味覚の変化）などを的確に判断し対処する。このようなケアは、医療現場より、介護保険によるサービスが最も得意な分野である。

今後は栄養士などが関与した、認知症の栄養学の発展が望まれる。

今後の改革の方向性

認知症高齢者の医療とケアはここ20年で大きく変化進歩した（表5）多職種の分業ケア（Multi-disciplinary Care）から、多職種共同ケア（Inter-disciplinary Care）さらに、多職種醸成ケア（Multi-harmonized Care）への発展が望まれる。医療にせよ介護にせよ、チーム医療への保険点数や介護保険による給付が必要な分野で、臓器別縦割り、機械的クリニカルパスで推し量れない、暖かみのある、個人の特徴を活かしたケアという、最も利用者が望む医療とケアの原点がここにある。

表5 認知症高齢者の医療とケアの変化

介護・看護：	
鼻腔栄養	→ 嚥下評価と摂食訓練
オムツ	→ 排尿誘導
褥瘡処置	→ 褥瘡予防
医療：	
誤嚥；IVH・抗生剤	→ 誤嚥性肺炎の評価と予防 PEG、嚥下リハビリ
失禁；膀胱カテーテル	→ 適応の限定
褥瘡；消毒剤・植皮	→ 被覆材・治癒過程の解明 医療機器の進歩
共通言語の醸成	
医療・介護の効果判定として「生活機能予後」	

V) おわりに

認知症の医療目標は

- ①「生活機能の一 日でも長い維持」
- ②「周辺症状の緩和」
- ③「家族の介護負担の軽減」

につきると考える。これらは、単に診断と薬物投与という旧来の医療では絶対に達成できない課題で、医療とケアの連携、特に介護保険サービスと医療が連携してはじめて家族患者に福音をもたらせうる分野と考える。

医療とケアの連携には、共通言語として、高齢者総合的機能評価²⁾が欠かせない。杏林大学高齢医学では、物忘れ外来開設以来、全例に総合的機能評価を施行し、治療判定に役立てているが、今後より地域のケアと密着したサービス形態に発展させていく必要性に答え、もの忘れセンター（Center for comprehensive care on memory disorders）を開設した。認知症の医療と介護の醸成ケアを目指し活動するつもりである。

参考文献

- 1) Livingston G, Johnston K, Katona C, Patona J et al. : Systematic Review of Psychological Approach to the Management of Neuropsychiatric Symptoms of Dementia. Am J Psychiatry, 162 : 1996–2021, 2005
- 2) 鳥羽研二 他 総合的機能評価ガイドライン 厚生科学研究所 2003

平成 20 年度研修会報告

高齢者のリハビリテーション研修会

介護老人保健施設のリハビリテーションについて、実情を踏まえての講義・実技・グループワークが行われました。



開会挨拶

副会長：松田 ひろし

日 時：平成20年7月18日(金)
会 場：新潟ユニゾンプラザ
参加施設：45施設
参加人数：88名



講義 I

「老健における生活リハビリテーション～高齢者と身体障害～」

講師：さくら苑
理学療法士 渡辺 庄治郎 氏



講義 II

「老健における生活リハビリテーション
～認知症高齢者～」

講師：マザリー三条
作業療法士 渡辺 美佐子 氏



閉会挨拶

理事：樋熊 紀雄

グループワーク

テーマ：「老健における生活リハビリテーション」



《参加者の感想》

- *利用者のリスクのみを考え何もしないのではなく、できることを見つけていくのが生活リハビリとして大切である事が勉強になりました。
- *良質な介護をするにあたっては、もっと身体的なメカニズムを理解したうえで行った方が、より安全で効率的であるという事を認識しました。
- *日常生活の中でリハビリが行えることが勉強でき、明日から実践していきたいと思います。

介護支援専門員養成講座



松田ひろし副会長挨拶

日 時：平成20年9月9日(火)
会 場：高齢者総合福祉相談センター福住
参加施設：15施設
参加人数：30名

平成20年度介護支援専門員受講資格試験に先立ち、受験予定者を対象に介護支援専門員養成講座が開催された。松田ひろし副会長からの開会の挨拶の際には、来年度開催される全国大会の案内があり、講座受講者に協力の依頼を呼びかけた。

午前中は本番さながらの緊張感の中、模擬試験が行なわれ、午後からは平成18年度の介護保険制度改正点を踏まえた試験の傾向と対策について新潟青陵大学短期大学部教授荒木重嗣氏を講師に迎え、熱の入った講義が行なわれた。

10：00～12：00 模擬試験

(社)日本社会福祉士会神奈川県支部作成問題



13：00～16：00 模擬試験の解答・解説及び講義

—介護支援専門員受講資格試験に向けて—

講師：新潟青陵大学短期大学部 教授 荒木重嗣氏



＜参加者の声＞

1. 模擬試験について

- ・介護支援分野で2005年度改定の内容について理解できておらず難しかった。
- ・時間を見ながら本番のイメージが出来て良かったです。
- ・一人で勉強するのとは違い、本番に近い形で出来て良かった。

2. 模擬試験の解答・解説について

- ・解答を個々に見ていただき今の評価とこれからのアドバイスを頂けてとても参考になった。
- ・解説も重点ポイントを上げてもらえて良かったです。
- ・自分自身の苦手とするところが明確になり、今後生かしていきたい。

現場ですぐできる実践講座



日 時：平成20年9月25日(木)
会 場：アトリウム長岡
参加施設：27施設
参加人数：53名

開会挨拶

学術研修委員会
委員長 落田トク

講義 I 「話し方のコツ」

- ・パワーポイントを使って、いかにわかりやすく伝えるか。
- ・プレゼンテーションの基本・わかり易く伝えるポイント



講師：小林奈穂美氏

講義 II 「話の聞き方のコツ」

(苦情のみならず、家族・利用者の要望をいかに上手に聞くか)

講師：カウンセリングルームさくら 代表 小林奈穂美 氏



《参加者の声》

- ・常に聴き手のことを考えて話すことが大切だということを再認識した。
- ・現場における家族に対する話し方・聞き方も聞きたかった。
- ・「問題である」→「解決が必要な課題である」考え方ひとつで答えの導き方が大きく変わることを改めて感じた。
- ・グループワークでは話をし、伝えること、聞くことの大切さを実感できた。

平成 20 年度研修会報告

接遇研修会

平成21年度に開催される第20回全国介護老人保健施設大会新潟を前に、接遇について学ぶ研修会が開催されました。

対象は大会実行委員のみならず、各施設からの一般参加者も加わり、実践的な内容を学びました。

日 時：平成20年10月16日(木)
会 場：朱鷺メッセ
参加施設：47施設
参加人数：95名

講義Ⅰ 「もてなしと接遇」

講師：(有)人材育成研究所 エスオフィス
代表取締役 田中 成子 氏

90分の講義の内、前半は接遇の基本について参加者が2人ペアになり、実際の対応を演習しながらポイントを学びました（写真①）。後半は人に合わせた対応をするために、ソーシャル・スタイル識別シートを活用して、自分がどのような傾向があるか、また、周りの人はどのような傾向があるかについて、4つの分類を紹介。

日頃の接遇の中で、それぞれ自然な“癖”はあるが、よいものを更に発揮すること、どういう傾向にあるか自分で気づき改善していくことが大切であると、述べられました（写真②③）。



講師：田中成子 氏



講義中の様子 ①



講義中の様子 ②



講義中の様子 ③

講義Ⅱ 「大会運営のための接遇」

講師：(株)新潟コンベンションサービス 取締役 錦織 均 氏



講師：錦織 均 氏

次の3点についてポイントを絞り、述べられました。

①コンベンションとは何か？

…コミュニケーションとしての効果が高い。

②スムーズな大会運営のために！

…運営組織、業務の実行と管理。

③大会運営のホスピタリティ

…目配り、心配り、気配り、各自の意識

平成 20 年度 新潟県介護老人保健施設大会

平成 20 年 11 月 12 日(水) 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

今大会は、平成 21 年 7 月に開催される第 20 回全国介護老人保健施設大会新潟と同会場で行われました。78 施設から 423 名のご参加をいただき、7 会場に分かれて 90 演題（口演 84 題、ポスター発表 6 題）の研究発表がありました。また、市民公開セミナーもあわせて開催されました。



開会式



開会の挨拶 会長
田中 政春



新潟県福祉保健部長
石上 和男 様



新潟県医師会会长
佐々木 繁 様



新潟県老人福祉施設協議会理事
佐藤 郁男 様



副会長
松田 ひろし



～参加者の声～

- *同じ老健で働いている職員の発表を身近に感じ、共感することが多かった。これからも頑張ろうという気持ちを持てた。
- *どこの施設も同じような悩みや、取り組みなどがあるとわかったとともに、参考になりよかったです。
- *日々、行っているケアを見直す場として研究発表はよい機会だと思う。
- *特養では今どういった現状で、どんなテーマがあり、取り組んでいるのか、知る機会があつてもよいのでは?と感じた。
- *主催者側がいくつかテーマを提示して、それについて各施設が発表するというのも、比較することができよいのではないか。
- *同じような悩みを持ち、研究に取り組んでいる各施設の症例を参考にするため、多くの方の参加を期待したい。



学術奨励賞受賞者

～学術奨励賞受賞演題～

(五十音順)

演題

- ぼうずでもいいじゃないか！
- ターミナルケア
- 自然排便を目指した援助
- ユニットケアは介護の質の向上に繋がるのだろうか
- 生活リハビリの中でのADLの向上
- ご利用者の思い+職員の想い=『準ユニットケア』
- 排泄自立支援

施設名

- 石黒爽風苑
- 越南苑
- エバーグリーン
- ケアポートすなやま
- サンプラザ長岡
- てらどまり
- 緑樹苑

発表者

- 小山 智彦
- 田中 晴実
- 石井 明美
- 松田 美穂
- 坂井 祐平
- 高橋 徹
- 高橋 千恵子



講評 理事 松田 由紀夫



講評 理事 樋熊 紀雄



閉会の挨拶 副会長 馬場 肝作

市民公開セミナー

『認知症の理解を深める』～もの忘れの早期診断から進展予防まで～

講師として杏林大学医学部教授の鳥羽研二先生をお迎えし、一般市民も多数参加されました。スライドを多く使用され興味深い内容であり、認知症について改めて考えさせられる内容でした。



鳥羽 研二先生

講師プロフィール

[現職]

杏林大学医学部高齢医学主任教授

杏林大学病院もの忘れセンター長

日本老年医学会理事

全国老人保健施設協会理事

厚生労働省転倒予防研究班班長

日本学術会議連絡委員（老化・老年病）

～参加者の声～

*スライドを使った説明でとてもわかりやすく、冗談も交えており大変聞きやすかったです。

*一般の方も参加できるのは、認知症の理解を深めるきっかけとなり、とても良いと思いました。

平成20年度新潟県介護老人保健施設大会宣言採択



大会宣言を読み上げる代表者

閉会式の際に、職員の賃金アップや事業所経営の健全化に向け、介護給付費の増額を来年の介護報酬の改定で求めること、国に対する2,200億円の社会保障費の削減撤廃、などを盛り込んだ大会宣言の採択を求める声があがりました。

田中政春大会会長の呼びかけにより、宣言は全会一致で採択されました。

平成 20 年度新潟県介護老人保健施設大会宣言

今般、11月11日を「介護の日」と定めましたが、介護を提供する人がいなければ介護はなり立ちません。

本宣言は、平成19年末から平成20年2月にかけて集められた本県の老健施設職員とその家族、施設ご利用者並びにご家族等、81,224名の署名を基に「介護職員等の待遇改善」と「事業所の経営状態改善」を求めるものです。

1. 賃金のアップと事業所経営の健全化のために、介護給付費の増額を要求します。
2. 2,200 億円の社会保障費の削減の撤廃と老健施設の機能への正当な評価を求めます。
3. 私たちは、これらの要望通り、経営状態が改善された際に、介護職員等の賃金のアップ、待遇の改善を最優先させ、老健施設の質の向上に努めることを誓います。

平成 20 年 11 月 12 日

新潟県介護老人保健施設協会

施設紹介

いっぷく2番館



所 在 地：三条市帯織800番地
開設年月日：平成20年1月1日
入所定員：100人（短期入所療養介護含む）
通所定員：30人

こことからだに くつろぎのいっぷく

「介護老人保健施設いっぷく2番館」はその名の通り当法人において2つ目の老人保健施設となります。当法人グループは「医療法人社団しただ」「社会福祉法人しただ」の2法人よりなります。

三条市下田地区にて「訪問看護ステーションとんぼ」「介護老人保健施設いっぷく」「かもしか病院」以上を医療法人社団しただにて、「特別養護老人ホームいっぷく」「ケアハウスいっぷく」「在宅介護支援センターいっぷく」以上を社会福祉法人しただにて運営しております。

「介護老人保健施設いっぷく2番館」は医療法人社団しただにて三条市栄地区で運営をスタート致し周りは田んぼや山に囲まれ春夏は緑、秋には黄金の絨毯に囲まれ冬は一面の銀世界と様変わりし周りの田んぼには白鳥の群れが飛来します。

「介護老人保健施設いっぷく2番館」は全室完全個室とし入所する方のプライバシーを配慮し、ユニットケア対応をすることで「暮らしの質」を考慮しております。また様々なイベントを行うことで明るく家庭的な雰囲気を醸し出す施設です。

ご利用者が主役である。そしてご家族、地域の皆様との信用信頼を着実に築いていくそんな施設を目指していこうと思います。

江風苑



所 在 地：新潟市北区大迎1330番地
開設年月日：平成20年4月1日
入所定員：82人（短期入所療養介護含む）
通所定員：18人

敬愛と感謝のこころをモットーに

旧豊栄市の阿賀野川沿いにある「江風苑」は、周辺を田畠に囲まれた自然豊かな閑静な場所にあります。広い敷地と明るく、清潔感あふれる苑内は、ご利用者、ご来苑される方々にゆっくりお過ごしいただけるよう配慮しました。ご利用者が「にこやか」で「個性豊か」に「安心・快適」に過ごすことができるよう、スタッフ一同「愛想よく」「明るく元気に」接するよう心掛け、家庭的な雰囲気づくりを目指し、また、ご利用者のニーズにきめ細かく応えるよう個別リハビリ、レクリエーション、行事、食事提供等に配慮しています。

開設して半年経過しましたが、地域の中核施設となるべく、地域住民の方々、各種ボランティア、関係機関との交流の機会を増やし、尚一層連携を図り、地域に開かれた施設となるべく鋭意努力していくといつも思っております。

汐彩の郷



所 在 地：北蒲原郡聖籠町次第浜22街区1番
開設年月日：平成20年6月1日
入所定員：90人（短期入所療養介護含む）
通所定員：20人

笑顔あふれる心温まる施設に

「さくらんぼの里」聖籠町の東港に隣接する次第浜地区雄心の大地に、夕日が見える施設として平成20年6月にオープンしました。

新潟県の北部、飯豊連邦に源を発する加治川下流の海岸地帯に位置し、日本海を展望できる絶景のロケーションにあります。施設内は、家庭的で落ち着いた居室空間と、木目調のゆったり広々としたフロアーや廊下は、大きなガラス窓から見える自然の山や海、野球場や隣接住宅の屋根等、生活空間の中で「歩く」リハビリを楽しめます。老健としては初めての、夫婦で個室を利用しながら居室を行き来できるコネクティングルームや、個を尊重した可動式空間は、次世代の要望に応えた工夫です。「食からの機能訓練」と称して、食べることから始める身体の機能回復は、管理栄養士始め、4名のリハビリスタッフによる、利用者個々の生活にあった心の通う個別リハビリによって、在宅復帰への希望を促し、オープンして間もないですが、ADLの改善に大いに貢献しています。

汐彩の「汐」は、日本海に沈む夕日のように最後まで輝いた人生を送ってほしい、「彩」は四季それぞれの自然の姿から生きる勇気を感じてほしいと願い名付けました。常に笑顔と「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れず、心温まる接遇に職員一同努力していきます。

入舟



所 在 地：新潟市中央区入船町3丁目3629番地1
開設年月日：平成20年6月1日
入所定員：45人（短期入所療養介護含む）

持っている力を大切に生き生き笑顔

入舟は今年2008年6月に舟江病院の療養病棟から転換し、1フロアのみで開設いたしました。9床の個室と4床室を設けています。ゆったりとした時の流れの中に、しっかりとリハビリを行い、車椅子レベルから自立歩行へ、経管栄養から経口摂取自立（7名中5名）へと変化がありました。自分らしい健やかな毎日を育むために、一人ひとりの個性や状態に合わせたケアを大切に職員一同頑張っています。来年4月には、もう1フロアを転換開床予定としており、さらに充実していくことを考えております。地域の福祉・医療のネットワークを大切に、高齢者にやさしい地域づくりの一助となれるよう努めてまいります。

*住所では入船「船」の文字が使われていますが、ここ下町は明治の初めに開港し縦横に往来する堀割が運上所へと続き活気の溢れる町だったようです。その堀割を走る重要な舟からとった地名が残っています。私たちも舟の文字を使い「入舟」と致しました。



平成20年度臨時総会開催

平成20年度臨時総会が、役員の任期満了に伴う役員改選及び平成21年度事業計画案・収支予算案並びに第20回全国介護老人保健施設大会新潟を主な議題として平成20年11月18日、ホテル日航新潟で開催された。冒頭、田中会長が挨拶され、事務局より総会時の会員数90名のうち20名が出席（他に代理出席3名）、委任状提出会員67名、当日欠席3名で計87名となり、定足数を満たし本総会成立の報告の後、新会員（入舟・汐彩の郷）の紹介があった。その後、議長に清流苑の大森隆先生を選任し進められた。また、議事録署名委員にアビラ大形の鈴木雄二先生、いいでの里の姉崎静記先生が選任された。初めに報告事項として①各事業の進捗状況②平成20年度事業報告・収支報告（中間報告）③社団法人全国老人保健施設協会代議員会（H20. 6. 20）についての報告があり、続いて議事に入った。第1号議案：平成21年度事業計画案及び平成21年度収支予算案に関する件は原案通り議決、第2号議案：平成21年度第20回全国介護老人保健施設大会新潟については原案通り議決、第3号議案：役員の任期満了に伴う役員改選については、選出方法について執行部案を求める事となり、田中会長より執行部案が提案され承認された。新役員は下記の通り決定した（全員留任）。第4号議案：全国老人保健施設協会役員改選については、新潟県の会員数が90

になったことに伴い、代議員及び予備代議員が、それぞれ現在の2名から3名に増員されることとなり、下記の通り決定した。なお、新任の2名の予備代議員については、会長・代議員に一任して頂き、4月までには決定するとの提案があり承認された。関東甲信越ブロック推薦理事候補者の推薦については、立候補者の田中政春氏（当協会会長）を推薦することを議決。その他では「平成20年度新潟県介護老人保健施設大会」の学術奨励賞受賞演題の報告があった。

事務局 斎藤

新潟県介護老人保健施設協会新役員紹介(任期：H21. 4. 1～H23. 3. 31)	
会長	田中 政春(楽山苑 理事長)
副会長	松田 ひろし(米山爽風苑 管理者) 馬場 肝作(やまぼうし 理事長)
理事	石田 央(越南苑 理事長) 野村 穂一(くびきの 理事長) 松田 由紀夫(ケアポートすなやま 理事長) 佐藤 栄午(松浜さくら園 理事長) 樋熊 紀雄(女池南風苑 施設長)
監事	荒川 修二(やすらぎ園 理事長) 佐野 孝(常盤園 理事長)
社団法人全国老人保健施設協会新潟県支部役員(任期：H21. 4. 1～H23. 3. 31)	
支部長	田中 政春
代議員	石田 央 松田 ひろし 馬場 肝作
予備代議員	野村 穂一 松田 由紀夫 土田 熱

平成20年度介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰



松
田
ひ
ろ
し
氏



斎
藤
茂
子
氏

厚生労働大臣表彰は、「老人保健福祉に関し顕著な功績があった方」を表彰するもの。

本県からは米山爽風苑の松田ひろし氏と好日庵の斎藤茂子氏が厚生労働大臣表彰を受賞された。

平成20年度社団法人全国老人保健施設協会会長表彰（施設表彰）

この表彰は、全国老人保健施設協会の「実地研修指定施設として5年以上活動した会員施設」を選考するもの。

本県からは米山爽風苑が受賞された。

以上、授賞式は平成20年8月28日、第19回全国介護老人保健施設大会京都開会式にて行われた。

『第20回全国介護老人保健施設大会新潟』（平成21年7月22日～24日）の会場下見行われる



平成20年7月24日、全国老人保健施設協会の常務理事会が新潟市の朱鷺メッセで開催され、同日、川合秀治全老健会長はじめ、副会長、常務理事、全老健事務局による標記大会の会場下見が行われました。会場下見には、田中政春会長、松田ひろし副会長、馬場肝作副会長が同行して、案内及び説明を致しました。

大会宣言（平成20年度新潟県介護老人保健施設大会宣言）を知事、県議会議長へ提出

平成20年12月16日(火)、田中会長と馬場副会長が新潟県庁を訪問し、職員の賃金アップと事業所の経営健全化等のため介護報酬の増額を求めた「平成20年度新潟県介護老人保健施設大会宣言（平成20年11月12日採択）」を、泉田裕彦知事と三林碩郎県議会議長へ手渡し、主旨について説明し理解を求めた。

(写真右から)

泉田知事
田中会長
馬場副会長



(写真中央)

三林県議会議長



第19回全国介護老人保健施設大会 京都 PR活動に参加して

平成20年8月27日(水)～29日(金)全国介護老人保健施設大会が京都にて開催されました。平成19年の名古屋大会の時にもお手伝いとして参加させて頂きましたが、やはり自分たちが主となり進行していくのは大変難しいことでした。しかし、新潟のスタッフの方々と協力しながらしっかりとPR活動が出来たことを嬉しく思います。名古屋大会・京都大会で見て、感じたことを参考にしながら平成21年に開催される新潟大会を盛り上げたいと思います。ぜひたくさんの方々にご参加頂きますよう心よりお待ちしております。 (越南苑 丸山 智生)



◆県警からのお知らせ◆

「振り込め詐欺」

急増中！



「オレオレ詐欺」や「還付金等詐欺」の被害者の大半は高齢者です。介護従事者の皆さん、高齢者やその家族に防犯ポイントを伝え、被害にあわないよう指導してください。

オレオレ詐欺

息子などを装い、「携帯番号が変わった。」など事前に電話をしてから、借金返済などの名目でお金をだまし取る。

還付金等詐欺

電話で税務署などの公的機関を名乗り、税金などの還付手続きを装って、ATMを操作させ、口座振替により、お金をだまし取る。

☆防犯ポイント☆
疑つて まずは確認 振り込まない

おかしいと思ったら、遠慮せず警察に相談してください。

必ずチェック 最低賃金！

使用者も
労働者も

新潟県の最低賃金は

時間額 **669円**

発効日：平成20年10月26日

*特定の産業には産業別最低賃金が定められています。

新潟県ホームページアドレス http://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku00_00001.html

最低賃金に関する問い合わせは新潟労働局又は福島労働基準監督署へ

厚生労働省

老健とわたし

様々な職種の職員が、それぞれの専門性を生かしながら施設を支えています。その職員の声と人柄をお届けします。



さくら苑
理学療法士
村山 兼一

- ①柏崎市
- ②利用者様の生活にダイレクトに関わり、自分の専門領域を活かしながら援助させていただく事で、その人の価値観等共有しながら自分自身が人間的に成長していく事。
- ③スポーツ（する事、観る事共に）、読書、音楽鑑賞、作詞・作曲
- ④最近は、時間がなく趣味になかなか没頭できず、専ら昼寝でしょうか（？）。一番は、全般的にスポーツが好きなので、体を動かして自一杯汗をかく事です。
- ⑤老健に勤務するPTとして、specialistとしての専門領域のみならず、generalistとして“利用者様の生活”を援助していくよう頑張っていきたいと思います。



さつき荘
看護職員
安藤 久徳

- ①柏崎市
- ②たくさんの人達と出会えたこと
- ③ボウリング・スノーボード
- ④愛犬との散歩・旅行
- ⑤この仕事に就こうと決めて無我夢中で早16年！！今、全職員一丸となって、老健の役割を日々研鑽し、安らぎと思いやりの絆を大切にして取り組んでいきたいと思っています。



さど
介護員
後藤由希

- ①佐渡市
- ②利用者の方に笑顔で「ありがとう」と言われたとき
- ③音楽鑑賞、DVD鑑賞
- ④犬や猫と遊ぶこと
- ⑤いろいろと大変なことはありますが、とてもやりがいのある仕事だと思います。これからも頑張っていきたいです。

質問内容

- ①出身地
- ②この仕事を選んでよかったです
- ③趣味
- ④私のストレス解消法
- ⑤メッセージ



サンクス米山
支援相談員
高橋 喜寛

- ①柏崎市
- ②利用者様が自宅へ退所される時の笑顔が見られたとき
- ③ドライブ、旅行
- ④休日に愛娘と遊ぶこと
- ⑤入所者様と一緒に当施設より見える日本海を眺めながら、人生の先輩から聞くお話は大変勉強になる毎日を送っております。日々変化の現状に戸惑いながらも、入所者様のため、努力していきたいと思います。



サンプラザ長岡
管理栄養士
内山 貴子

- ①宮城県仙台市
- ②利用者様の「おいしい　ありがとう」と言って素敵なお顔がみられる事
- ③ビデオ鑑賞　ドライブ　温泉めぐり
- ④愛犬と遊ぶこと　漫画を読むこと
- ⑤常食からミキサー食の方までもが、見た目がよく、おいしく、食べやすい食事を提供しようとがんばっています。当施設のホームページに行事食を掲載していますので、是非ご覧下さい。



春風堂
事務職員
内山 奈緒美

- ①小千谷市
- ②たくさんの人にお会えたこと
- ③音楽鑑賞、Shopping
- ④いっぱい寝る、長風呂
- ⑤施設で働き始め、もうすぐ3年になります。まだまだ学ぶ事が多く、自分の至らなさを感じていますが、笑顔を心掛け楽しく仕事をしていくたらと思います。

み

ん

な

の

広場

さくら苑『フェルティングツリー』

要介護度2の片麻痺の方が作製。フェルト上に、ほぐした毛糸を専用のニードルで差し込んで作製。ニードルは使いやすくかつ危険がない様、建築の下地探しを改造した。



さつき荘『浴衣』

裁縫クラブに参加される入所者の方に、夏の盆踊り・花火大会に合わせて浴衣を作っていました。大会当日は女性職員が浴衣を着て踊り、クラブの方や他の入所者、ご家族からも大変好評をいただきました。



サンクス米山『秋の風景』

利用者様同士でアイデアを出し合ながら、貼り絵を作成しました。秋の景色が施設内いっぱいに広がりました。「きれいだねえ」の声がいつでも聞こえています。



サンプラザ長岡『だんごや』

サンプラザ長岡では、毎年市が開催しているイベントに作品を展出しています。今年のテーマは「だんごや」です。笹だんごやちまきの結び方では、利用者様が先生となり職員が教わりながら作りました。



春風堂『紅葉』

通所リハビリの利用者様に作っていた、壁一面を飾る大きな貼り絵です。もみじの葉一枚一枚をハサミで切るところは大変でしたが、山の色合いと、水面の輝きのコントラストが美しいと評判になりました。

編集後記

平成20年11月12日に朱鷺メッセで平成20年度新潟県介護老人保健施設大会が行われました。今号では市民公開セミナーで杏林大学医学部教授の鳥羽研二先生に講演していただいた「認知症の理解を深める」を特集として取り上げました。大変興味深く、認知症を改めて考えさせられる内容でした。各施設で一読し、役に立てなければと思います。

また、今年の7月22日～24日の3日間第20回全国介護老人保健施設大会が新潟県で行われます。昨年8月に京都で開催された第19回全国老人保健施設大会では、次回開催県としてPR活動を行いました。全国大会の緊張感を肌で感じて、いよいよだなという気持ちです。新潟県で行われる初めての全国大会ですので、多くの施設に参加していただきたいと思います。

今後もお役に立てる情報を「老健にいがた」で取り上げていけるように委員一同頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(広報委員 嶋津大輔)

新潟県介護老人保健施設協会広報誌
「老健にいがた」 第25号

編集・発行：新潟県介護老人保健施設協会
広報委員会
〒940-2301 新潟県長岡市宮沢327番地1
介護老人保健施設楽山苑内
TEL (0258) 42-3500
FAX (0258) 42-3900

印刷 吉原印刷株式会社